平成２４年度

天塩町教育委員会点検･評価報告書

平成２５年 １２ 月

天 塩 町 教 育 委 員 会

― 目 次 ―

はじめに
　１　点検評価の趣旨 ………………………… 1
　２　点検･評価の対象 ………………………… 1
　３　点検評価の方法 ………………………… 1
　４　学識経験者の知見の活用 ………………………… 1
第１　教育委員会の活動状況
　１　教育委員名簿 ………………………… 2
　２　教育委員会議の開催状況 ………………………… 2
　３　教育委員会議審議内容等 ………………………… 2～5
　４　教育委員の活動状況 ………………………… 5
第２　社会教育委員の活動状況
　１　社会教育委員名簿 ………………………… 6
　２　社会教育委員会異議等の開催状況 ………………………… 6
　３　社会教育委員会議の審議・報告内容等 ………………………… 6～7
　４　社会教育委員の活動状況 ………………………… 7
　５　社会教育施設等の利用状況 ………………………… 7
第３　天塩町の学校概要 ………………………… 8
第４　主な事務事業の点検・評価
　　　「いきいきと学び創造性とこころ豊かなまちづくり」
　Ⅰ　学校教育の充実
　　・教育内容の充実 ………………………… 9～10
　　・教育環境の整備・充実 ………………………… 10～12
　Ⅱ　生涯学習の推進
　　・家庭教育機能の向上 ………………………… 13
　　・生涯学習活動の推進 ………………………… 13～14
　　・地域教育力の活性化 ………………………… 14
　Ⅲ　芸術・文化の振興
　　・芸術・文化活動の振興 ………………………… 14
　　・文化の保存・伝承 ………………………… 15
　Ⅳ　生涯スポーツの推進
　　・スポーツ活動の推進 ………………………… 15
　　・スポーツ施設の整備・充実 ………………………… 15
第５　点検・評価に関する有識者（学識経験者）の意見
　１　教育委員会の活動状況 ………………………… 16
　２　主要施策などの点検・評価 ………………………… 16
　３　終わりに ………………………… 16

は じ め に

１　趣旨

平成１９年６月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「法」という）の一部が改正され、法第２７条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、地域住民への説明責任を果たすため、平成２４年度における教育委員会の主な活動状況や実施状況についてまとめ報告するものです。

> ※　地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）
> 　　（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）
> 第２７条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
> ２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当っては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

２　点検･評価の対象

点検･評価の対象は、天塩町総合振興計画との整合性を図り、平成２３年度における天塩町教育行政執行方針の施策に基づく主な事務事業として４項目９区分の事業内容について評価を行っています。

３　点検･評価の方法

点検･評価にあたっては、平成２４年度の施策や主な事業等について、事業内容を示すとともに、事業効果や課題等を分析し、今後の推進方策や方向性等を示しています。

４　学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った活動状況や施策の実施状況について、点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検・評価に関する意見・助言をいただきました。

第１　教育委員会の活動状況

１　教育委員名簿

職　　名	氏　　名	任　期（在籍）
委　員　長	渡　部　　旭	平成 13 年 5 月 10 日～平成 26 年 12 月 19 日
委員長職務代理者	横　溝　裕美子	平成 23 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日
委　　　員	橋　本　清　美	平成 20 年 10 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日
〃	佐久間　勇　次	平成 24 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日
委員（教育長）	下　澤　　昇	平成 19 年 5 月 24 日～平成 24 年 9 月 30 日
〃	上　林　哲　也	平成 24 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日

２　教育委員会議の開催状況

項　目	教育委員会議	会議等審議件　　数	学校行事及び訪問関係件数	その他 各種事業･大会等
回数･件数	１３回	８８件	１７件	１５件

３　教育委員会議の審議・報告内容等

開 催 日	審　議　・　報　告　内　容　等
第５回 ５月７日	（報告） ・天塩町立学校評議員の委嘱について ・平成２３年度天塩町一般会計補正予算（教育費の専決処分）について （審議） ・要保護・準要保護児童生徒の認定について
第６回 ５月２３日	（報告） ・天塩町学校教育推進委員の委嘱について （審議） ・修学旅行の引率業務等に従事する天塩町学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の全部改正について ・平成２４年度天塩町一般会計補正予算（教育費等）について （協議）

	・小中学校運動会への出席について
第7回 6月29日	（審議） ・要保護・準要保護児童生徒の認定について （その他） ・第２４年度北海道市町村教育委員研修会について
第8回 8月1日	（報告） ・平成２４年度天塩町一般会計補正予算（教育費の専決処分）について
第9回 9月5日	（審議） ・平成２４年度天塩町一般会計補正予算（教育費等）について （その他） ・平成２４年度留萌管内「教育実践研究学校」について ・平成２４年度校内・地域教職員研修促進費に係る「地域連携研修実施校」について ・平成２４年度「北海道ふるさと教育推進事業」における指定校について
第１０回 １０月１日	（審議） ・天塩町教育委員会教育長の任命について ・天塩町教育委員会委員の議席について ・天塩町教育委員会委員長職務代理者の指定について （協議） ・学芸会・学校祭・文化祭への出席について （その他） ・天塩中学校柔道授業指導地域連携会議設立会議について
第１１回 １０月３１日	（視察） ・天塩町内社会教育会館及び指定文化財の視察 （その他） ・議会全員協議会の内容報告について ・議会総務文教常任委員会所管事務調査の内容報告について ・平成２４年度天塩町ＰＴＡ研究大会兼天塩町児童生徒健全育成連絡協議会講演会について
第１２回 １１月２６日	（審議） ・平成２４年度天塩町一般会計補正予算（教育費）について ・平成２３年度天塩町教育委員会点検・評価報告書について ・要保護・準要保護児童生徒の認定について

第１３回 １２月１８日	（選挙） ・天塩町教育委員会委員長の選挙について （審議） ・天塩町教育委員会委員長職務代理者の指定について （その他） ・『平成２４年度「全国学力・学習状況調査」結果からの学習指導等改善・充実に向けて(天塩町学力・学習状況調査研究所)』について
第１回 １月３０日	（報告） ・学校職員の懲戒処分の内申について （審議） ・平成２４年度天塩町一般会計補正予算（教育費）について ・要保護・準要保護児童生徒の認定について
第２回 ２月１３日	（報告） ・平成２４年度学校職員の採用等の内申について （審議） ・平成２５年度天塩町一般会計当初予算（教育費等）について ・平成２４年度天塩町一般会計補正予算（教育費等）について ・平成２５年度教育行政執行方針(案)について （協議） ・平成２４年度卒業式について
第３回 ３月１２日 第４回 ３月２５日	（報告） ・平成２５年度教育委員会臨時職員の雇用について （審議） ・平成２５年度学校職員人事異動の内申について ・天塩町通学費用等交付要綱の一部改正について （協議） ・平成２５年度入業式について （その他） ・体罰に係る実態把握調査（第２次）について （報告） ・平成２５年度教育委員会臨時職員の雇用について ・平成２５年度学校職員の採用等の内申について （審議） ・事務主幹の命課について （その他）

	・平成２５年度留萌管内市町村教育委員会協議会総会・研修会について

※　上記のほか、教育長諸報告及び行事予定の協議について毎回実施。

４　教育委員会のその他活動

＜学校行事･訪問関係＞

・教職員辞令伝達式に出席（4／9）
・各小中学校及び高等学校の入学式に出席（4／6・9）
・各小中学校の運動会に出席（6／3・10）
・天塩町児童体育大会に出席（6／19）
・天塩高校存続要請に伴う周辺四町の中学校を訪問（7／26・27，9／4）
・各小中学校の学芸会・学校祭・文化祭に出席（10／7・14）
・各小中学校の学校訪問実施（11／12～13）
・天塩町教育研究発表大会に出席（2／1）
・各小中学校及び高等学校の卒業式に出席（3／1・12・14・20）

＜その他各種行事･大会等＞

・はまなす学園大学入学式に出席（4／13）
・留萌管内市町村教育委員会協議会及び委員研修会に出席（4／23，10／4・5）
・北海道町村教育委員会連合会総会（5／15～16）
・天塩町議会定例会及び臨時会に出席
（6／7．8／27．9／19・20，12／12・13，3／5・13～15）
・北海道市町村教育委員会委員研修会に出席（7／11～12）
・天塩町学習サポート教室開催に協力（7／30～8／3）
・天塩町戦没者追悼式に出席（8／15）
・天塩町敬老会に出席（9／13）
・町民ジョギング大会に出席（9／8）
・留萌管内市町村教育委員会委員研修会に出席（10／15～16）
・天塩町ＰＴＡ研究大会兼天塩町児童生徒健全育成連絡協議会講演会（11／11）
・天塩小学校改築検討委員会に出席（11／30）
・町民スキー場オープン式に出席（1／3）
・天塩町新年会に出席（1／7）
・天塩町成人式に出席（1／13）
・天塩町教育三者合同研修会及び懇話会に出席（1／30）
・留萌管内教育実践表彰式及び退職者激励会に出席（2／15～16）
・町民スキー大会に出席（2／17）
・天塩町はまなす学園大学卒業式に出席（3／8）

第２　社会教育委員の活動状況

１　社会教育委員名簿

任　　期	平成２３年４月１日～平成２５年３月31日		
委員長	吉　田　　忠　雄	副委員長	高　橋　　恵　子
委　　員	岩　澤　　貴　之	委　　員	園　田　　加代子
委　　員	冨　樫　　正　勝	委　　員	武　田　　利　明
委　　員	水　口　　俊　夫	委　　員	宍　戸　　栄　一
委　　員	ヴィッキー・マンゼル	委　　員	稲　垣　　　満

２　社会教育委員会議等の開催状況

項　目	社会教育委員会議	会議等審議件数	各種大会・研修等
回数・件数	２回	１０件	５件

３　社会教育委員会議の審議・報告内容等

開　催　日	審　議　・　報　告　内　容　等
第１回 ７月１９日	（審議・協議等） ・平成２４年度各種研修会・道社会教育研究大会等について ・平成２４年度天塩町社会教育推進事業について ①平成２４年度生涯学習・スポーツ主要予定事業 ②平成２３年度各種施設の利用状況等（社会福祉会館、図書室） ・平成２４年度天塩町社会教育中期計画領域別推進目標の設定について ①家庭・青少年・青年・成人・高齢者グループ ②芸術・文化・体育・社教施設グループ （情報提供） ・初山別村通学合宿について[留萌教育局社会教育主事：一ノ関　太郎]
第２回 ３月２２日	（審議・協議等） ・平成２４年度生涯学習・生涯スポーツ事業報告について ①歴史資料館、社会福祉会館の利用状況 ②町民プール、運動公園、町民スキー場、スポーツセンターの利用状況 ・平成２４年度天塩町社会教育中期計画領域別推進目標の評価について

	①家庭・青少年・青年・成人・高齢者グループ ②芸術・文化・体育・社教施設グループ

４　社会教育委員の主な活動状況

・　留萌地方社会教育委員連絡協議会総会に出席（5/8）
・　第３２回北海道市町村社会教育委員長等研修会に出席（7/12～13）
・　平成２４年度留萌管内生涯学習セミナーに出席（12/2）
・　平成２４年度留萌管内社会教育施設連絡協議会(翌年度以降の事業に係る検討会議)に出席（10/15）
・　平成２４年度地域生涯学習実践セミナーに出席（2/13～15 事）

５　社会教育施設等の利用状況

施設区分		２３年度		２４年度		増　減	
		件数･日数	利用人数	件数･日数	利用人数	件数･日数	利用人数
社会福祉会館		628 件	19,867 人	566 件	18,008 人	△62 件	△1,859 人
天塩川歴史資料館		－	1,636 人	－	1,823 人	－	187 人
ファミリースポーツセンター		－	23,409 人	－	25,285 人	－	1,876 人
運　動　公　園		－	7,770 人	－	5,751 人	－	△2,019 人
内訳	本球場	85 日	1,635 人	71 日	1,090 人	△14 日	△545 人
	サブ球場	17 日	400 人	16 日	377 人	△1 日	△23 人
	ソフトボール場	38 日	1,055 人	28 日	833 人	△10 日	△222 人
	パークゴルフ場	昼夜 412 日	3,651 人	昼夜 330 日	2,811 人	△82 日	△840 人
	ゲートボール場	69 日	703 人	64 日	483 人	△5 日	△221 人
	テニスコート	58 日	326 人	51 日	158 人	△7 日	△168 人
町民スキー場		49 日	31,156 人	43 日	27,395 人	△6 日	△3, 761 人
町民プール		74 日	3,422 人	74 日	3,096 人	3 日	△326 人
雄信内プール		50 日	437 人	50 日	367 人	－	△70 人
社会教育会館(7 会館)		－	610 人	－	2,488 人	－	1,878 人
世代間交流センター (上:ゲートボール、下:他)		－ －	1,294 人 3,243 人	－ －	1,078 人 5,168 人	－ －	△216 人 1, 925 人
福祉会館図書室		－	7,114 人	－	6,414 人	－	△700 人
内訳	（貸出し数）	－	11,896 冊	－	10,285 冊	－	△1,611 冊
	（蔵書冊数）	－	13,638 冊	－	14,199 冊	－	561 冊

第3　天塩町の学校概要

経営の基本方針等	重点目標・指導等
○天塩小学校 ★　児童一人一人の瞳が きらきら輝く学校の創造 ～魅力ある教育活動の推進～ 1．子どもの心のオアシスとなる教育活動 2．教職員が意欲をもち、働きがいのある教育活動 3．保護者や地域から信頼される教育活動	①　地域に開かれた学校経営 ②　生きる力を育み、教育的人間関係を構築する学級経営 ③　学習指導要領の趣旨を生かし、生きる力を育む特色ある教育課程 ④　教職員の資質・能力の向上を図る実践的な研修活動の推進 ⑤　意欲を引き出す学習指導の展開 ⑥　好ましい人間関係と自立心を育てる生徒指導 ⑦　豊かな心を育てる道徳教育の充実 ⑧　自立的・実践的な態度を育てる特別活動 ⑨　生きる力を育む「総合的な学習の時間」 ⑩　コミュニケーション能力の素地を養う外国語活動 ⑪　一人一人の教育的ニーズにこたえる特別支援教育 ⑫　自己の生活を改善する健康・安全教育 ⑬　将来への夢や目標をもち、自己実現を目指す生き方指導の充実 ⑭　学校・家庭・地域との連携・協力
○啓徳小中学校 ★　未来を拓く　心豊かでたくましい児童生徒を育成 ①　自分のよさに気付き互いに発揮できる学校　　『高め合う学校』 ②　保護者や地域の願いに応え、信頼される学校　『支え合う学校』 ③　子どもと共に学び、磨き合い、学び合う学校　　『学び合う学校』	『確かな学力』と『豊かな心』を相互に高める教育の推進 ①　新学習指導要領の趣旨を生かす、調和と創意のある教育課程の改善・充実 ②　子どものよさを生かし、「確かな学力」を身に付ける学習活動の改善・充実 ③　地域の環境や併置校の特性を生かした特色ある教育活動の推進 ④　豊かな心を育むむ教育活動の展開と全校体制による生徒指導の充実 ⑤　地域に愛され、地域とともに歩む、信頼される学校づり～家庭、地域との連携 ⑥　教職のプロとしての専門性の充実と学び、高め合う教師集団 ⑦　学校運営の機能化・円滑化・活性化 ⑧　伝統と創造を主張する学習環境の整備・充実 ⑨　社会の変化に対応する教育
○天塩中学校 1．　授業が分かって元気 2．　居心地のいい学校で元気 3．　互いに高め合う学校で元気 4．　地域とともに元気	「自ら意欲的に学び、互いに認め・高め合う、元気な生徒の育成」 ①全教職員の経営参加を基本に共通理解と協働で【みんなが元気】 ②一人一人の生徒の良さや個性を大切に【一人一人が元気】 ③愛情と厳しさを持ち、信頼関係を【お互いが元気】 ④生命の尊重と健康・安全教育の充実を【心と体が元気】 ⑤責任と信頼のある学校運営の推進を【学校が元気】 ⑥特別支援教育の充実を【支え合って元気】 ⑦不登校生徒支援の具体的な手だてを【居心地が良くて元気】

児童生徒数及び教員等一覧

（H24年5月1日現在）

学校名	へき地級	学級数		教職員数							児童・生徒数						
				校長・教員							＜特別支援内数＞						
		普通	特別支援	普通	特別支援	養護教諭	栄養教諭	事務職員	その他	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
天塩小学校	1	6	3	10	言・加2 3	1	1	1	町特支援 2	20	23	<知1> 25	26	<知2> 24	<情1> 25	<肢1> 19	<特支7> 142
啓徳小学校	3	3		5		1		1		7	3	3	1	1	1	6	15
計		9	3	15	5	2	1	2	2	27	26	<1> 28	27	<2> 25	<1> 26	<1> 25	<特支7> 157
天塩中学校	1	3	2	9	3	1		1		14	<知1情1> 18	25	<知1> 30				<特支2> 73
啓徳中学校	3	3		9 （兼1）						9 （兼1）	9	6	4				19
計		6	2	18 （兼1）	3	1		1		23 （兼1）	27	<1> 31	<1> 34				<特支2> 92
合　計		18	5	36 （兼1）	8	3	1	4	2	54 （兼1）							<特支9> 269

年度別入学予定者数

（H24年3月末現在）

学校名	24年	25年	26年	27年	28年	29年
天塩小学校	22	23	24	29	18	28
啓徳小学校	3	3	5	2	5	1
計	25人	26人	29人	31人	23人	29人

第4　主な事務事業の点検・評価

基本目標「いきいきと学び創造性とこころ豊かなまちづくり」学校教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等 （継続・改善等）
Ⅰ 学校教育の充実	教育内容の充実	確かな学力の向上	○天塩町学力・学習状況調査研究所の答申に基づく各学校における実践研究所が本町の学力・学習状況結果を検証・分析し、改善策等を答申した資料を参考に、各小中学校では次の改善を実践している。 たとえば、【天塩小学校の場合】 1. 国語科の実践として 1)基礎・基本の定着を図る工夫 ①漢字学習の徹底　②作文指導（短文作り）の工夫 ③授業へのウォーミングアップを活用した言語活動の充実 2）読書活動推進の取組 ①朝読書の実施　②「学校支援ボランティア」による本の読み聞かせの取組 3）全教育活動における言語活動の場の設定 全校朝会、学校行事、日常の授業等においても、音読、暗唱、劇化、発表等の表現の場を意図的に設定。 2. 算数科の実践として 1)基礎・基本の定着を図る工夫 ①授業時間を利用した計算練習の取組の継続 ②個に応じた指導（少人数指導改善加配を受け、学級や個の実態に応じ、少人数・TT指導を行う。更に各学年2・3単元で習熟度別学習を実施。） 2）思考力・応用力を高める授業の改善 ①問題可決型の学習過程の工夫 （基礎基本を重視した時間を確保するとともに、発展的な内容や数学的な思考を伴う内容を取り入れながら授業の改善を図る。） 3. その他の実践 1)指導と評価の一体化を図る取組 ①学力検査（CRT）の実施と活用 検査結果をもとに各学年全体の傾向と児童の個々の実態を把握し、授業改善や補充の指導に生かし、学校全体の学力向上を図っている。 ②学習機会の拡充 ・チャレンジテストを活用し、学習機会の拡充を図る。 ・学年×10分家庭で学習することの共通理解を図り、宿題や課題の提示する。 ・夏期休業中の「学習サポート教室」の参加を呼び掛けるとともに、教職員も指導者として参加し学校ぐるみで取り組んだ。 ・「放課後塾」を開催し、児童に基礎基本の定着を図った。 ≪天塩町学力・学習状況調査研究所発行「平成24年度実践報告集」から抜粋≫ ●「平成24年度「全国学力・学習状況調査」結果からの学習指導等改善・充実に向けて」印刷製本費78，750円 ●「平成24年度実践報告集」印刷製本費79，800円 ○一人一人を大切にした指導の充実と基礎・基本をしっかり身につける子どもの学びをサポートする取組 1. 知能検査、学力検査の実施　（444，930円） 2. 定数加配によるT・T少人数指導担当教員の配置（天塩小1名） 3. 長期休業中における「学習サポート教室」の開催（797，000円） ①夏期「学習サポート教室」(天塩小、啓徳小中の二会場で小4～小6及び中学生を対象に5日間実施。天塩小実37名、啓徳小実7名、啓徳中19名参加） ②冬期「学習サポート教室」(天塩中の会場で中学生を対象に3日間実施。天塩中の生徒1～3年生延53名参加） ※高校生ボランティア7名、大学生ボランティア2名の協力を得る。	・日常の実践に有効な資料として活用され、改善プランの交流が行われるなど、確かな学力の育成に繋がりつつある。 ただ、年度ごとにより比較はできないが、全国に比べ学力が低い現状を見ると更なる手立てを検討する必要がある。 ・複数教員による少人数指導の実践により、一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導ができ、基礎的・基本的な習得が図られている。 ・冬期「学習サポート教室」の開催では、地元天塩高校の高校生の協力を得ることが出来き、生徒にも好評の教室を開催することができた。 このことから、、夏期の「学習サポート教室」も含め、今後の「学習サポート教室」については、継続した高校生ボランティアの協力を得た開催が必要である。	・引続き学力・学習状況調査研究所による検証、改善策、資料等の発行 ・定数加配授業の継続と習熟度別学習を推進 ・地元高校生の協力を得ながら、学習サポート教室を継続開催
		総合的学習の	○総合的な学習や探究的な学習を通して自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的判	・社会性や規範意識、思いやりの心など豊かな人間性が育まれるほか	・学校、家庭、地域との連携を

基本目標 「いきいきと学び創造性とこころ豊かなまちづくり」 学校教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等（継続・改善等）
		充実	断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てるとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的・創造的・協働的に取組む態度育て、自己の生き方を考えるようにする。 ・「しじみタイム」や「チャレンジタイム」導入 ・地域の住民を講師にした学習機会の設定 ・農業を中心に、地域の人材や自然、施設探検などの学習 ●各種行事・授業等に係る輸送及び機械等の借上げ （503,747円）	地域との連携や交流活動に繋がっている。 ・自ら課題を見つけ、自ら学び、問題を解決する資質や能力を育てることにより、主体的・創造的に取り組むようになっている。	図りながら継続 ・自然環境の体験等環境教育の推進
		道徳教育の充実	○豊かな心を育てる道徳教育の充実 ①体験活動を取り入れた道徳教育の推進（あいさつ・ごみ拾い運動の実施） ②心のノートの多様な活用 ③道徳推進教師を中心に、全教師の協力した道徳教育を展開 ④参観日の「道徳の時間」の授業公開 ○命を大切にする心や感動する心、基本的な規範意識や倫理観、公共性や社会性などを育成 ・朝の読書活動やあいさつ・ごみ拾い運動の実施 ・身近な事例や新聞記事などを取上げ個人や学級の課題として考える。	・日常生活の決まりや約束を守る行動、態度を養う生徒指導ができるとともに、人や物、動植物を大切にする気持ちが育てられている。 ・社会に生きる者の一員として自覚と責任感が養われている。 ・いじめ等大きな問題は無いが、不登校が課題であるため、関係機関との連携を強め、状況に応じた対応をしていく必要がある。	・教育活動全体を通じ、教師を中心とした指導体制を充実し継続 ・命の大切さ、思いやりの心の育成充実 ・いじめ、不登校問題に対する課題の即時解決の推進
		国際理解教育の充実	○外国人指導助手（ALT）を活用した学校授業を展開 ・外国人英語指導助手配置（ALT）　　820千円	・外国人（ALT）による実践活動が行なわれ、より効果が期待できる。今後、より充実した授業ができるよう見守っていく必要がある。	・学校と外国人（ALT）が連携を密にした児童のコミュニケーション能力を養う指導の充実に努める
		特別支援教育の充実	○自立と社会参加の基礎を培うため、共通理解に基づく教育活動を展開すると共に、状況や特性に応じたきめ細かな教育を実施 ・天塩町特別支援教育連携協議会　　・特別支援教育扶助費235千円 ・町内障害児等教育研究協議会補助金300千円 ・各種負担金（言語・就学・指導支援）の助成　50千円 ・天塩小学校に特別支援教育支援員の配置　3,876千円	・学習中の持続力が増し、主体的・意欲的に取り組む様子が見られる。 ・支援員の配置により、きめ細かな指導に努めるとともに、個々の興味や 関心を高めながら基礎的・基本的な学習の習得に努める。 ・教師間はじめ関係機関との連携を図り、個々の実態把握と適切な相談・支援体制の充実を図っていく必要がある。	・引続き個々に応じたきめ細かな指導が図られるよう支援員の配置 ・就学指導委員会の相談事業を活用し個に応じた適正な就学の推進
Ⅰ 学校教育の充実	教育内容の充実	食育の充実	○栄養教諭による食に関する指導の充実 ・「早寝・早起き・朝ごはん」運動と食事のあり方、望ましい食習慣と健康管理の指導 ・食中毒防止や給食施設等の定期検査の実施 ・給食での地場産品の活用促進 （給食管理経費及び事業経費　10,848千円）	・食事の重要性や喜び、楽しさを理解し、心身の増進や健康に役立っているほか食事のマナーも身に付けられている。 ・学校給食施設に係る定期点検を基準に則り、実施してい。 ・食物の大切さや生産者へ感謝する心を理解させる事ができている。 ・今後、更に地場産品を活用していくよう指導していく必要がある。	・早寝・早起き・朝ご飯運動をはじめ生活リズムの定着化を図り食育の大切さを推進 ・地場産品の積極的な活用と安心・安全な学校給食の充実を推進
		学校図書館の活性化	○読書活動を促進し、言葉を学び、感性を磨き表現力を高め、創造力を豊かにする。 ・各学校で朝読書、放課後読書の実施 ・学校図書館の図書の蔵書・整備等　1,723千円	・豊かな知識を身につけ、人間性を磨くことができるよう、更なる 読書習慣の継続と読書活動の促進が必要である。 また、計画的に学校図書の蔵書と社会福祉会館図書室との連携を図り読書環境の整備する必要がある。	・引続き読書習慣の確立や本に親しむ機会の拡充を図ると共に利用しやすい環境づくりと蔵書に努める。
	教育環境の整備充実	学校教材の整備充実	○教育の効果を高めるため、学校図書や教材 の整備充実を図る。 ・教科用・教師用図書及び一般教材導入　2,998千円 ・理科教材等の導入　102千円 ・社会科副読本改訂経費　250千円	・学校教育の効果を高めるため、児童生徒の発達段階に配慮し教材の整備充実を図る必要がある。	・引続き効果的に指導できる教材の整備を推進
		情報教育の充実	○情報通信ネットワーク及びコンピュータ等周辺機器を整備し、情報化教育	・年次計画どおり整備され情報通信ネットワークに慣れ親しみ、基本	・ウイルス対策やフィルタリン

第4　主な事務事業の点検・評価

基本目標 「いきいきと学び創造性とこころ豊かなまちづくり」 学校教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等（継続・改善等）
			の育成に万全を図る ・インターネット通信料　46千円 ・コンピューターソフトや周辺機器の整備　655千円	操作は既に身に付けられてきている。 今後、ネット活用の注意点や犯罪について研修や指導が必要である。	グソフト等整備のほか、常に危険が伴うなど注意点の指導充実
		児童生徒の健全育成等（健全育成、保健体育・健康管理等）	〇児童生徒連絡協議会や学校・家庭・地域と連携し、いじめや非行など未然防止に努めるとともに児童・生徒の健全な育成に期する。 ・町児童生徒育成指導連絡協議会補助金及び負担金　138千円 ・夏・冬休みのきまりや郊外生活のきまり等の発行 ・生徒指導に関する情報交換や健全育成の啓蒙 〇各種行事等の開催を通じ体力向上と精神のかん養を図るとともに成果の発表と交流を図る。 ・児童体育大会　168千円　　・中体連体育大会参加補助金　3,364千円 〇児童生徒の健康管理のための各種健康診断・検査等の委託事業 ・就学児検診　146千円　　・児童生徒健康診断　1,443千円 ・児童生徒の脊柱側わん検査・心臓検診　68千円 ・日本体育学校健康センター負担金　234千円	・児童生徒の安全確保や健全育成について、積極的に関係機関と情報交換され 、児童生徒の健全育成に繋がっているが、先生方は、地域との連携が少ないことから、各種イベントや行事等を通じ積極的に参加するよう指導していく必要もある。 ・共通の目的を持って活動することで、健全育成、体力の向上ほかやり遂げる満足感や児童生徒同士の交流が生まれている。 ただ、体力・運動能力が全国・全道に比べ低い傾向にあるため、学校だけでなく、日頃から体を動かし体力を身につけさせる事ができるよう関係機関・地域とも連携していく必要も望まれる。 ・学校保健、環境衛生に係る各種検査、健診等実施、児童生徒の成長を身守るとともに疾病の予防と早期発見に努める。	・関係機関と連携し地域との結びつきを促進 ・体力・運動能力の向上と豊かなスポーツライフの基礎を培うため、体育の授業を中心とした教育活動を通じ、取組む意欲の増進など指導の充実ほか徒歩通学の推進
		安全で快適な学校環境の充実（防犯対策・交通安全等）	〇関係機関、家庭、地域と一体となって通学路の安全点検や危険回避能力を培う防犯教室・訓練を推進し、事故防止に努めるとともに交通安全に対する意識啓発。 （交通安全・防犯教室開催による意識啓発、冬季通学路の安全確保等） ・遠距離通学対策　772千円　・スクールバス運行事業　33,989千円 ・学校支援地域本部事業　775千円　・スクールバス購入事業 3,536千円	・児童の登下校時の安全見守りや青空教室等に協力支援するほか防犯活動を行っているが、更に内容の充実と地域全体で取り組む必要がある。 ・スクールバスの老朽化が著しいため、計画よりも前倒しの更新となるが、あと1台ですべての更新が完了する。	・地域全体で事故防止に対する意識啓発と各種運動・安全教室等に協力・支援 ・スクールバスの購入を推進
Ⅰ 学校教育の充実	教育環境の整備充実	教職員の資質向上	〇校内研修、経験者研修、教育局指導班の学校訪問等を推進し教職員の資質向上を図るとともに、教職員の健康管理にも万全を期す。 ・町教育研究協議会補助金　　430千円 ・教職員健康診断　808千円 ・天塩町を知るフィールドワーク	・校内研究や自主的教育研究を推進するとともに、研修会等の開催により、個々の資質向上を図っている。	・教職員の健康管理はもとより、各種研究・研修活動を推進 ・関係者と定期的会議の継続
		開かれた教育の振興	〇学校評議員の配置により外部評価の充実を図るとともに、教育活動の情報を保護者や地域に発信 ・学校評議員経費　108千円 〇学校評価（教育目標・方針等）を踏まえ自己目標設定や教育委員会の点検評価など具現化による地域住民への情報提供 ・学校だよりの発行　　　・地域参観日開催 ・HPにより学校情報や委員会の点検評価情報の発信	・保護者とは違う視点から、地域住民の意見や情報を得ることができ実態に応じた学校運営に繋がっている。 ・自己評価をはじめ成果や課題を明らかにし、外部評価や指導助言者から意見等をいただき、次年度に向け取組んでいる。	・学校評議員等外部評価による学校運営の充実 ・学校評価の実施と保護者 ・学校だよりの発行と地域参観日の設定するなど、教育活動の情報公開を推進
		学校教育施設等の環境整備	〇学校施設・教職員住宅等の管理及び整備 〇学校運営に支障がないよう各学校の維持補修を計画的に実施 〇教職員住宅の維持管理ほか水洗化など生活環境整備を計画的に実施 ・各学校維持補修経費　4,314千円 ・各学校備品等経費　2,382千円 ・教員住宅の下水道整備　5,166千円 ・教員住宅窓サッシ・浴室等改修及び維持補修　3,613千円 ・各種保守点検委託　2,383千円	・各種点検委託事業や維持補修の実施により、安全安心な学校運営や職員住宅等の生活環境整備に繋がっている。施設等が古くなってきているため、今後も引き続き計画的に実施する必要がある。	・学校施設、教員住宅等の改修維持補修を計画的に推進
		校種間連携	〇校種間の交流から連携へ 保育所、小中学校、高等学校の交流については、以前から運動会等の行事や保育体	・交流は進んでいるが、次のステップとして児童生徒の成長のためには、校種を超えた連携が必要なことから、日常の活動交流として「授業	・交流事業の継続および教職員の連携推進。

第4　主な事務事業の点検・評価

基本目標 「いきいきと学び創造性とこころ豊かなまちづくり」 学校教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等 （継続・改善等）
			験や総合学習の時間等で進んできています。 　また、児童生徒健全育成指導連絡協議会や三者教育合同研修会などは小・中・高校の教職員が構成メンバーであり、情報交換等が行われている。	体験」などの交流に展開する必要がある。 ・また、教職員の連携として、それぞれ開催される研究会等への参加促進あるいは、授業交流も互いに参加できる方策が必要である。	
		天塩小学校改築事業	○天塩小学校の校舎工事が国の「平成24年度当初予算」の補助決定を受ける。 　これに伴い、平成25年度以降、体育館、グランド整備を順次進めて行く。 ○校舎棟改築～鉄筋コンクリート造2階建、延床面積3，161㎡（文教面積3，156㎡） ●予算ベース （需用費等）　　1，859千円 （工事請負費）919，000千円 （委託料）　　41，212千円 （備品購入費）32，000千円 合計994，071千円	・天塩小学校改築は最重要課題であり、町の総合振興計画に基づき、計画的に進めるため、国の予算の前倒し、繰越事業を積極的に活用し今後スケジュールの確実な進行ができるように進める必要がある。	・早まったスケジュールを確実に進める。

第4　主な事務事業の点検・評価

基本目標「いきいきと学び創造性とこころ豊かなまちづくり」 社会教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等（継続・改善等）
Ⅱ生涯学習の推進	家庭教育機能の向上	家庭教育の充実	○ブックスタート事業　23千円 情操教育の一環として10ヶ月検診時に読み聞かせ等、読書への動機付けを促す、絵本の楽しさを体験し乳幼児のことばと心を育む。 ・本の読み聞かせや絵本の入ったブックスタート・パックを提供 ○幼児図書室の開放 幼児向け図書、遊具などを配置、子育て環境づくりを支援 ○家庭教育支援総合推進事業　273千円 基本的生活習慣の育成や人格形成など家庭教育に関する学習機会の提供や父親の家庭教育への参加を促進 ・人形劇「カッコウの学校」、人形劇「ヘンゼルとグレーテル」など開催 ○家庭教育学級の開設　22千円 複式校独自に講習や実習・見学等、地域の実情に即した事業を校下住民と一緒に実施。 ・軽スポーツ、料理教室等を実施	・本の読み聞かせを通じ、絵本の楽しさや乳幼児のことばと心の豊かさが身に付くなど、子育てに繋がる。 ・幼児向け図書、遊具などを配置、子育て環境づくりを支援しているが、利用者の掘り起こしが必要である。 ・様々な機会を活用し親子で参加できるよう事業を展開するなど子どもから大人まで楽しめる学習機会の提供により親子のコミュニケーションが図られているが、父親の参加を促していく必要がある。 ・校下一体となった各種学習が実施され、生きがいづくりに繋がっている。	・読み聞かせを始め読書への動機付けを継続推進 ・利用しやすい環境づくりを推進 ・子育て支援、家庭教育学習機会の提供ほか、サークルやサポーターの活動支援を継続 ・保護者が参加する学習機会の場を提供
	生涯学習活動の推進	青少年教育の充実	○天塩町ふれあい教育推進事業　119千円 学社連携による地域教育資源人材活用を推進し生きる力、生活する力を身につける。 ・水泳学習、ごみ処理場見学、収穫祭、交通安全キャンペーン等。 ○親子チャレンジ教室の開催　57千円 ○親子ふれあい体験学習事業　19千円 サラキシふれあい農園（夕映前の畑）活用し、農作物の播種から収穫を通じ親子ふれあい体験学習の実施（体験農園） ○関係機関・団体と連携した青少年の健全育成 ・児童生徒健全育成連絡協議会負担金等　120千円 ・ラジオ体操、子ども会ドッジボール、ミニバレー、カルタ大会の開催等332千円	・学校教育・社会教育が連携・融和し、学習の場や学習内容を共有しながら、地域の資源や人材活用など一体となって行われているが、社会参加の促進など、青少年リーダーを養成していく必要がある。 ・親子一体となった体験学習（菜園づくり）を通じ、親子の絆と子どもの心の豊かさや食育の大切さが養われている。 ・各種スポーツを通じて子ども会組織の強化と活性化をはじめ、子どもたちの健全育成につながっている。	・青少年リーダーの養成研修をはじめ、自然や歴史・産業を活用した体験活動の充実に努めるほか親子チャレンジ教室を開催の継続 ・引続き継続 ・生活のきまりや情報交換を通じ健全育成に努めるほか各種大会を継続
		青年教育の充実	○青年ニーズの把握や自己研鑽のための学習機会や社会参加を通じまちづくりに生かす ・青年リーダーの育成や指導者研修の参加奨励68千円 ・成人式の開催等　206千円	・自分たちの活動だけでなく、小学生を対象とした体験学習事業や成人式での催しほか、地域のイベント等にも積極的に参加し、まちの活性化に貢献しているが、活動そのものが停滞してきている。 また、会員の減少等大きな課題もある。	・指導者研修の参加奨励ほか、団体活動の活性化を支援
		女性教育の充実	○女性学級等通事、各種体験講座・講習会の開設 ・男女共同参画社会（エンパワーメント）の更なる定着 ○家庭教育学級や女性学級の充実 ・女性の集い、いもっ娘フォーラム、ボランティア活動等　273千円	・各種講座で料理教室や健康づくりの指導などを実施し、参加者も徐々に増えつつある。引き続き女性問題に関する学習情報や学習機会の提供ほか現代的課題を取上げた学習の展開も必要である。 ・菜園や花壇の整備などを通じ、地域の活性化や公共施設等の景観にも貢献している。	・引続き、男女共同参画に対する意識向上と各種ロ座の開設・女性学級などの事業展開を支援
		高齢者教育の充実	○高齢者大学の充実 高齢者大学を開校し、学ぶ機会の提供と自主的社会参加を促進するととも、仲間づくりと新しい知識を身につける。 ・陶芸・書道・俳句・健康・防火等講座開設　年15回開催　561千円 ・保育所や学校訪問等の校外活動や他の大学との交流 ・23年度から「はまなす学園大学」に名称変更。	・充実した学習会や健康づくりなど、教養が高まり,心身の健康保持、増進を図るともに、心豊かで生きがいをもった生活につながる。 （新入学生3名含む学生総勢61名） 今後、更に豊かな人生経験者としての知識や体験を次世代に伝える活動を推進する必要がある。 また、老人クラブ間の交流を図る必要がある。	・生きがいを高め、参加しやすい学習機会の継続と知識、技術を伝承する場の充実に努めるほか、今までの授業も継続

第4　主な事務事業の点検・評価

基本目標「いきいきと学び創造性とこころ豊かなまちづくり」 社会教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等 （継続・改善等）
Ⅱ 生涯学習の推進	生涯学習活動の推進	各種施設の整備と機能充実	○各種社会教育施設の維持補修と適正管理 ・社会福祉会館管理経費　19,630千円 ・社会教育会館管理経費　1,065千円 ○社会福祉会館図書室活動の充実 蔵書、サービス業務の充実 （図書購入　1,515千円・読書感想文コンクール 29千円）	・各施設の老朽化が進んでいることから、適正な管理運営に努めているが、引き続き計画的に整備していく必要がある。 ・図書室のリニューアルと併せ企画展を実施、利用者増に繋がっている。 今後、更に本の入れ替えや読書環境の充実に努めていくほか、学校図書との連携を図る必要がある。	継続 ・道立図書館と連携を図るとともに新刊図書の充実や学校との連携を図るまた、各種催し物の開催
	地域教育力の活性化	生涯学習の推進	○生涯学習の推進 ・生涯学習アドバイザー経費　1,560千円 ・社会教育推進計画書の作成	・毎年社会教育推進計画を作成し、その計画に基づき生涯学習活動の全般的な取り組みが行われている。	引き続き推進計画の見直しと作成
		PTAや子ども会活動など自主的団体活動の促進	○各種団体・組織の活性化 子ども会、青年団体、女性団体など各種事業の取組み及び活動に対する助成と指導 ・子ども会育成部連絡協議会補助金　150千円 ・青年協議会補助金140千円　・女性団体連絡協議会補助金　110千円 ・各事業大会及び研修経費　127千円 ○PTA活動の充実 諸問題の把握とPTA活動の活性化等、研究協議ほか活動に対する補助　　　・PTA連合会補助金　42千円	・各団体とも各種事業の取組みについては、自主的に計画立案するようになってきているが、事務的な移行については課題がある。 ・母親研修会や研究大会等の開催により親としての資質向上や家庭教育活動の充実に繋がるよう内容の充実を図る。	・継続 ・PTA母親研修会及び研究大会の内容充実
		人材バンクなど学習支援ボランティア活動の推進	○学校支援地域本部事業 地域本部事業のもと、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子ども達を育てる体制を整備し支援していく。 ・青空教室、祭典時の防犯活動ほか、登下校パトロールの実施	・学校教育の充実を図るため、児童の登下校時の見守りや青空教室等に協力支援している。また、連携を密に学校の教育活動に地域住民の知識・技能を活用する機会を設けていく必要がある。 更に、安全安心に繋がる取り組みを地域住民と一体となって取り組んでいく必要がある。	・引続き青空教室、祭典時の防犯活動ほか登下校パトロールの実施ほか協力・支援体制を継続
Ⅲ 芸術・文化の振興	芸術・文化活動の振興	芸術文化の充実	○巡回小劇場の実施　280千円 児童を対象に劇団風の子「おさな星のうたたね」の公演 ○芸術鑑賞事業の実施 中学生以上を対象に「十三・十七・六魅楽」700千円 各種コンサート　65千円 ○ファミリー映画館　316千円 ○町民文化祭及び留萌管内巡回陶芸展等の開催 町民や管内の芸術作品展開催や芸能 発表会を開催し、技術の向上と交流を図る ○芸術・文化施設の充実 歴史資料館の運営管理と文化財の保管管理 ・歴史資料館管理経費　2,341千円 ・特別展示会等の開催（樺太展）	・日頃、生の舞台を見る機会が少ないこども達に、劇団による演劇を見る楽しさの機会を与える。 ・日頃、芸術鑑賞をする機会の少ない生徒や地域住民に、これまでのパーカッション・アンサンブルにはないエンターテインメントステージが小さなホールに広がり、音楽の楽しさを与える。 ・日頃、映画鑑賞をする機会の少ない地域住民に、映画の素晴らしさや家族で楽しむ機会を与えている。 ・町民文化祭や作品展を通し、優れた芸術・文化に接する機会が設けられ、意識の高揚と技術の交流等が図られているが、展示部門でのPRが必要である。 ・施設の適正な管理運営に努めているが、今後も施設の有効活用含め計画的に整備していく必要がある。 ・展示品の入替や歴史資料館分館（男能富）倉庫の保存等検討していく必要がある。 ・特別展示会の開催により施設の有効活用、入館者増を図っていく必要がある。	・子ども達が楽しめる公演を推進 ・子どもから大人まで一緒に楽しめる事業を推進 ・名作映画の上映を継続的に推進 ・芸能発表会や作品展の開催等のほか、相互交流や情報の共有に努める ・資料館の適正管理と充実

第4　主な事務事業の点検・評価

基本目標「いきいきと学び創造性とこころ豊かなまちづくり」 社会教育部門

施策の項目	施策事業の体系	主な施策名	主な事業名・事業内容	点検・評価と課題等	推進方策・方向性等（継続・改善等）
Ⅲ 芸術・文化の振興	文化の保存・伝承	各種団体の育成と自主活動の促進	○文化連盟・サークル活動の充実及び自主講座等の奨励 ○文化連盟及び郷土文化保存会への補助 ・文化連盟補助金　100千円 ・郷土文化保存会補助金　104千円	・補助金は、有効に活用され、相互交流や各種研修等を通じ発表会や出品展が行われているが、会員の減少など課題もある。	・文化保存・伝承のため補助金交付継続と推進
Ⅳ生涯スポーツの推進	スポーツ活動の推進	スポーツ活動の推進	○各種スポーツ大会・教室等の開催 町民ジョギング大会やスキー大会、水泳教室 等を通じ、親睦と体力づくり・健康づくりを促進 ・大会・教室開催経費　1,087千円 ○社会体育施設女性開放事業 体力の増進と施設の有効活用を図る ・ミニバレーやバドミントンなど個々に応じた軽スポーツを楽しみ健康増進を図る ○各種団体、サークル組織等の活性化と充実 指導員の研修及び体育協会・各種少年団活動への補助 ・スポーツ少年団活動補助金　390千円 ・体育協会等への補助金　155千円	・各種大会の参加を募り技術向上や相互交流のほか、町民の健康づくりや体力増進に繋がっている。 ・健康づくりに、関心を高める機会の提供で、個々に応じたスポーツやレクリエーション活動を通した、健康づくり・仲間づくりに繋がっているが、利用者が限られている。 ・各種団体、サークルとも目的にあった活動が行われているなど、地域はもとより子ども達の健康増進に繋がっているが、会員等の減少により活動そのものが弱くなってきている。	・引続き体力づくりや健康づくりのため各種大会や教室の開催と推進 ・町民の体力増進と施設の有効活用を推進 スポーツの振興、指導者の養成講習をはじめ、スポーツを通した健康づくり仲間づくりを推進
	スポーツ施設の整備充実	スポーツ施設の充実	○各種スポーツ関連施設の整備と活用 ・ 運動公園、スポーツセンター、町民プール、スキー場等の管理及び維持補修等　39,291千円	・計画どおりに管理運営しているが、利用率が低い施設もある。今後、利用率向上と計画的に施設・器具の充実が必要である。 ・町民スキー場管理運営に関し、天塩町スキー連盟による協力・支援により、効果的な運営がされている。 ・各種スポーツ団体等によるボランティア活動	・トレーニング用器具購入ほか、各施設の計画的な維持補修等を推進 ・今後もスキー連盟による協力依頼と体制の充実 ・各ボランティア活動の受入れ体制の充実

第５　点検・評価に関する有識者（学識経験者）の意見

１　教育委員会の活動状況について

平成２４年度は、１３回の教育委員会議が開かれており、必要に応じた適切な会議が行われていると認められます。

議案については、人事案件、規則改正等法的に定められている案件、一般会計予算案、各種計画案、各種調査等それぞれ教育の課題に関わる問題解決のため審議が適切に行われているものと考えられます。

会議終了後も引き続き、教育委員会事務局の活動に関する報告や、情報交換などが随時開催されており、多岐にわたる教育行政に関する事項について、教育委員と事務局間における共通認識を図る努力がなされています。

また、学校現場への訪問活動や各種行事への参加等も積極的に行われ、教育委員会活動が活発であることが伺えるところであります。

２　主な事務事業などの点検・評価について

主な施策について、教育委員会の自己による点検・評価を行ったものでありますが、単に当該年度の状況のみを点検・評価するだけでなく、次年度以降に向けての推進方策や方向性等について改善され、記述しており、点検・評価の方策として適切であると考えます。

本町では、健全な財政運営を目指して、財政健全化計画や行財政改革を取組んできましたが、財源不足の状態は依然解消しておらず、苦しい財政運営が続くもの捉えられます。このことから、事務事業の執行に創意工夫されているところも見受けられますが、更に地域住民の目線に立った努力や工夫が必要であると考えます。

引き続き、この点検・評価を地域住民に公表し、教育委員会活動が、どのような事務事業を所管しているのか知ってもらい、より「開かれた行政」の対応を、今後も必要であると考えます。

３　終わりに

教育を取り巻く環境が大変厳しさを増す中で、子どもたちの育成と生涯学習社会の実現のため教育委員会が果たす役割は極めて重要であると言えます。

教育委員会の所管するすべての施策について、住民の期待に応えていくことは誠に難しいところでありますが、今後を的確に見極めながら、次代を担う子どもたちが、この地域に住んで良かったと心から思える施策の展開を望むところであります。

『点検・評価に関する有識者』

北海道立天塩高等学校校長　　中川　尚之　氏
天塩町 PTA 連合会会長　　阿部　秀則　氏
天塩町山手裏通８丁目　　谷村　雅子　氏